

がん診療に携わる医師のための

第2回 沖縄県 緩和ケア研修会2014

参加者集
参加者集

主催：ハートライフ病院

平成26年8月2日(土)3日(日) 2日間

会場：ハートライフ病院 2階講堂

対象：がん診療に携わる医師 定員30名程度

(医師以外の医療従事者(薬剤師、看護師等)も参加可能です。)

※ただし、基本的に医師を対象とした研修会のため厚生労働省からの修了書はお出できません。代わりに、主催者名で修了書を交付致します。ご了承ください。

受講料：無 料

応募〆切：平成26年7月15日(火) 但し、定員に達し次第、締め切らせて頂きます。

「緩和ケア研修会」では、緩和ケアの基本を修得することができます。がん疼痛などの身体症状と精神症状に対する緩和ケア、コミュニケーションの知識技能、態度を学び、実践できるように、講義・ワークショップ・ロールプレイ等のプログラムが組みこまれています。

修了した医師には厚生労働省の発行する修了証書が授与されます。

日 時：＜1日目A課程＞ 平成26年8月2日(土) 8:30 ~ 17:20
 ＜2日目B課程＞ 平成26年8月3日(日) 8:30 ~ 17:45

会 場：ハートライフ病院 2階講堂

対 象：がん診療に携わる医療従事者 定員30名程度

【お申し込み・お問合せ先】

社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院

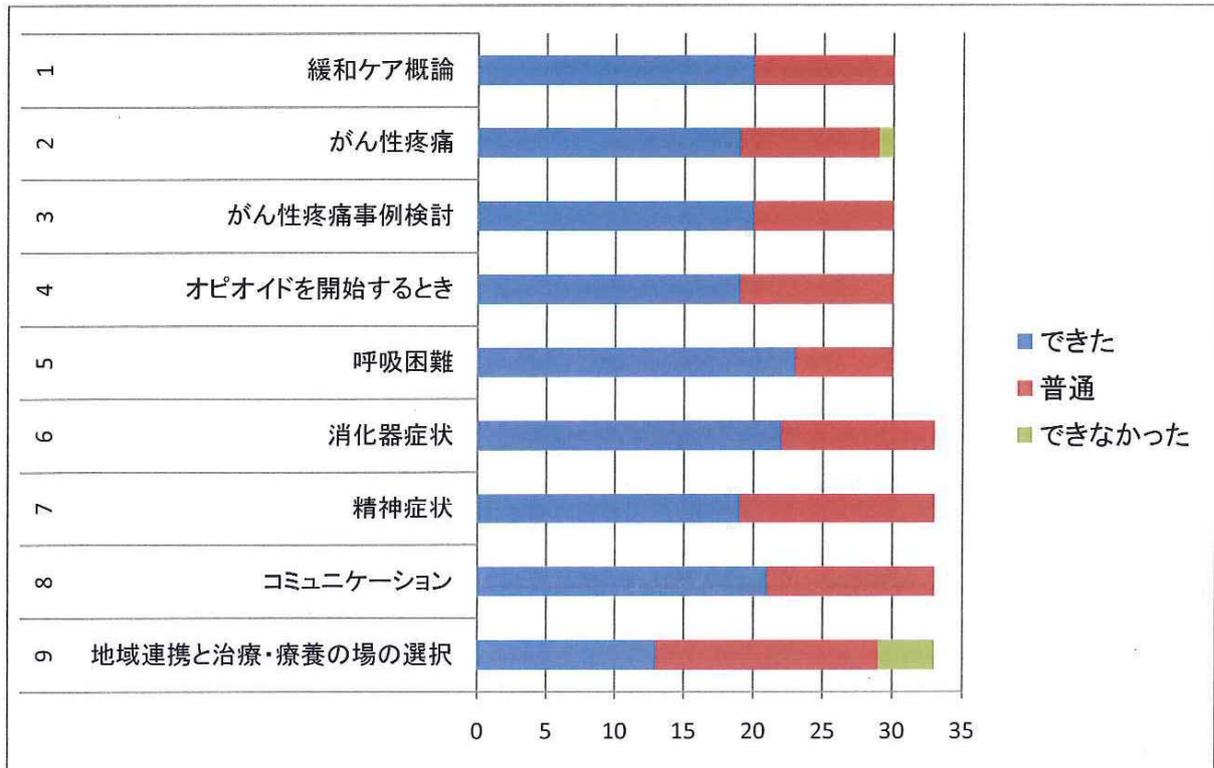
地域医療連携室 新垣 りか
 <メールアドレス r.shingaki@heartlife.or.jp>

電 話 098-895-3255
 F A X 098-895-5685

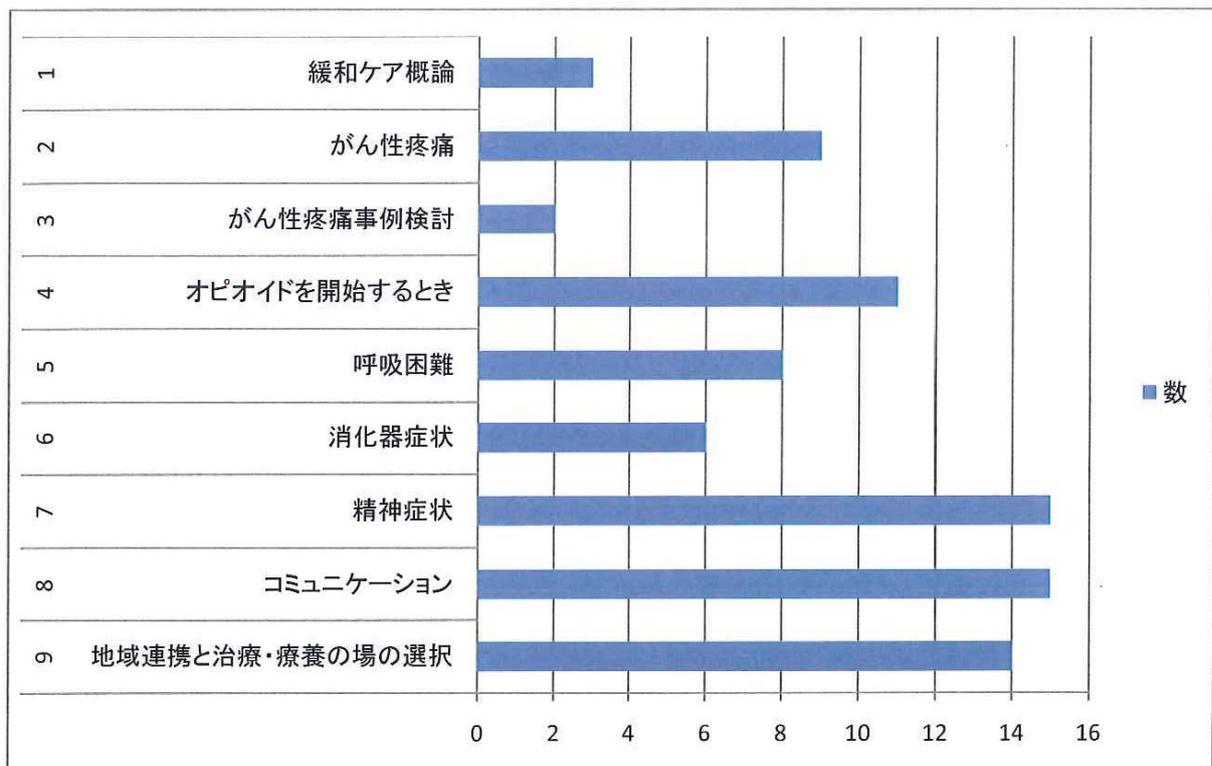


2014年8月2日(土)、3日(日)緩和ケア研修会アンケート結果

1. 今回のワークショップにおける各項目についてお聞かせ下さい。

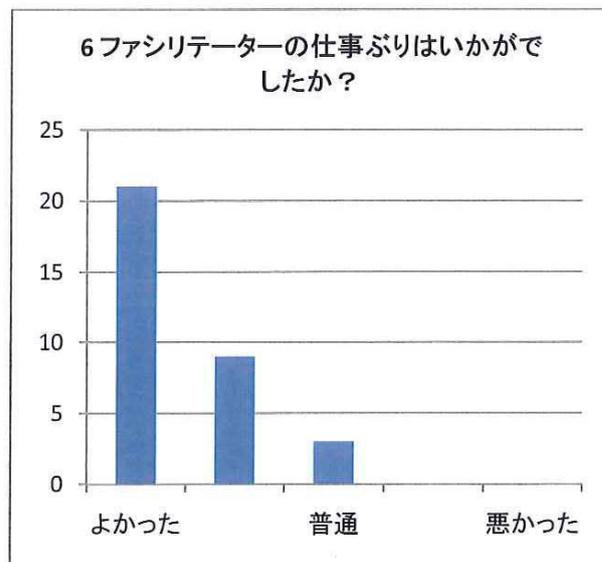
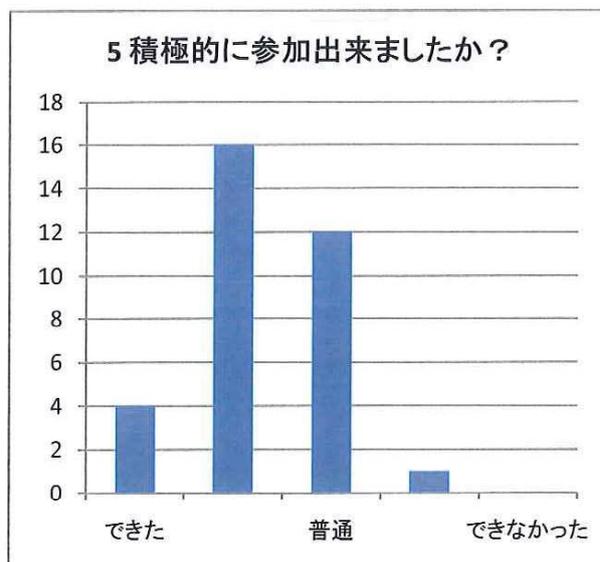
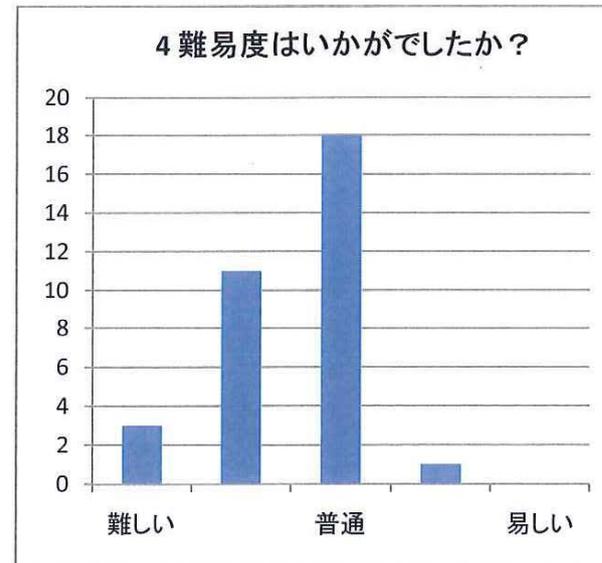
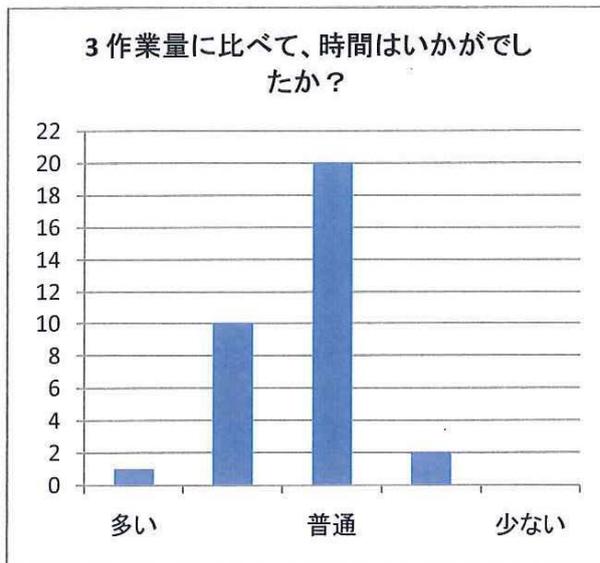
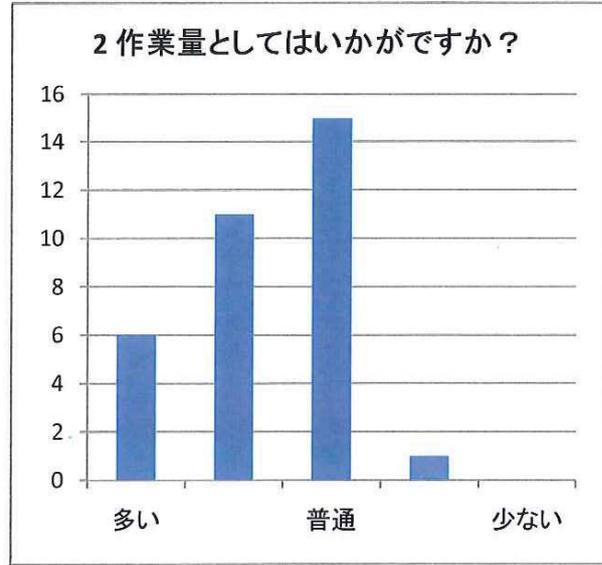
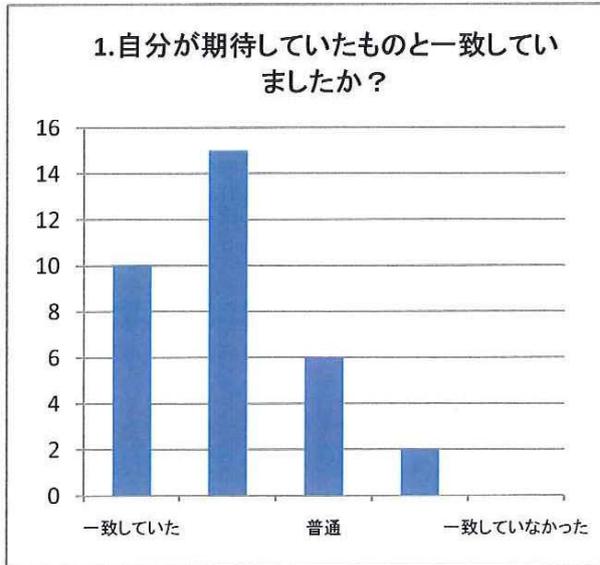


2. 上記の各項目のうち、特に興味を持たれたものの番号をいくつでも下にお書き下さい。

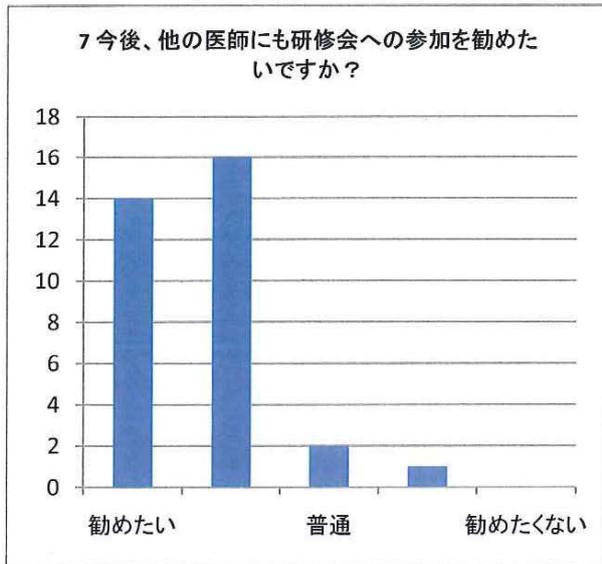


2014年8月2日(土)、3日(日)緩和ケア研修会アンケート結果

3. 今回のセミナーを全般的に評価して下さい。



2014年8月2日(土)、3日(日)緩和ケア研修会アンケート結果



4.次回に向けて改善した方がよいと思われる点について挙げてください。

- 時間を短くする。
- 09、地域連携は話し合う時間が十分なかったとの印象です。
- 独特のスライドを使用してもよいのでは。
- もう少し短い時間でできそうな気がしました。(レクチャーを減らすなど)
- 緩和ケアの地域連携に関するグループワークでは色々な職種が集まり経験の差も大きく、問題点をなかなか挙げるができなかった。むしろ、症例を呈示してもらい、どういった症例なら地域医療につなげることができるのかを教えて頂ければ幸いです。
- グループは、4～5名の少人数が良いと思われた。
- ワークショップの後半に、テーブルがないので、講義のメモや、テストが少しにくい気がしました。
- discussionがとどこおった時にファシリテーターの方がもう少し助言していただくと助かります。
- 講義される内容を十分に把握しておられないのかなと思われる講師の方もいたので、やはりその講義は聞いていて理解しづらかった。

5.その他、意見、感想などございましたらご自由にお書き下さい。

- ファシリテーター、講師の方々の伝えたいという気持ちがよく伝わってきました。ありがとうございました。
- 全体を通して体系的に学ぶことができました。今後の診療に活かしていきたいと思えます。
- 経験年数が上の先生の説明を実際に聞くことができ、とても参考になった。今後の診療に役立てたいと思った。
- 09に関しては、在宅医療をしている医療従事者の話も聞いてみたいです。
- 研修会の裏方の仕事をいただいた方々に感謝致します。
- ロールプレイで患者視線を体験できた事が、非常に貴重な経験でした。考えていたよりも見直すべき点は多く勉強になりました。
- 講師の先生方、ファシリテーターの方々、お疲れ様でした&ありがとうございました。
- 思っていた以上に、よい経験(勉強)になりました。ありがとうございました。
- スタッフの皆様ありがとうございました。
- ロールプレイでは先ばい医師たちのやり方を見れて勉強になった。自分がやった時も改善点が分かった。
- ただ、長くて集中力が続かなかった。
- 経験したことのない「告知」の場面を行ったが、実際に患者さんに告知することが間もなくと思うと、医学知識だけではなく、人間的にも成長しないといけないと思いました。
- ファシリテーターの皆様ありがとうございました。会場の準備や参加者の世話など休日を使い非常に温かいおもてなしをうけました。参加させていただき良かったです。今後、学んだことを活用していきます。
- 在宅にむけては、わからないことが多かったので、もっと勉強しなければいけないなと思いました。
- 自分の専門分野以外の内容が非常に参考になりました。勉強になりました。
- 地域連携システムに関して具体的なサービスの説明(パンフレット)があっても良かった。
- ありがとうございました。勉強になりました。
- ありがとうございました。

第3回 沖縄県緩和ケア研修会2014

日程 A日程：9月7日（日）8:30～17:20

B日程：9月14日（日）8:30～17:45

※A日程を修了後、1年以内に別の病院で行う研修会でB日程を受講することも可能です。
ただし、A日程を修了後、1年以内にB日程を受講しなければ修了証は発行されません。

場所

那覇市立病院 3階講堂

那覇市古島2-31-1 TEL：098-884-5111

対象者

がん診療に携わる医師及び研修医 50名

薬剤師・看護師は先着10名まで受講可能。ただし、医師からの応募が多い場合は定員を締め切らせていただきます。
また、修了後は厚労省からの修了証ではなく、県知事名で修了証が交付されます。ご了承ください。

研修内容

講義・ワークショップ、ロールプレイ等
（がん性疼痛等の身体症状及び精神症状に対する緩和ケア、コミュニケーション）

申込締切

平成26年8月22日（金）必着

（申込書を以下の宛先までFAX送信してください。）

※定員に達し次第締め切ります。

申込・お問い合わせ先

那覇市立病院 がん診療連携室 上里（内線283）

〒902-8511 沖縄県那覇市古島2-31-1

TEL：098-884-5111 FAX：098-886-5502

E-mail：ca-link@nch.naha.okinawa.jp

主催 地域がん診療連携拠点病院那覇市立病院 共催：沖縄県がん診療連携協議会

平成 26 年 10 月 1 日

那覇市立病院

「第 3 回緩和ケア研修会 2014」開催報告書

A 日程：平成 26 年 9 月 7 日（日）

参加者 医師 36 名（院外 23 名、院内 13 名）、
看護師 4 名（院外 4 名）、薬剤師 4 名（院外 4 名）

B 日程：平成 26 年 9 月 14 日（日）

参加者 医師 33 名（院外 19 名、院内 14 名）、
看護師 6 名（院外 6 名）、薬剤師 2 名（院外 2 名）

参加者からの意見

- ・ 90 分の講義が長すぎるので 60 分にすべき。
- ・ 講義の担当者は事前にリハーサルを行うなど、一通り内容を理解しておく必要があるのでは？と思うときも数回あった。
- ・ 配付資料をいただいているので講義はもう少し短時間で要点だけでもよいと思われました。ある程度がん診療を携わっていれば基本的な緩和ケアの知識や疼痛緩和等はやっていることが多いと思います。
- ・ 声を大きくした方がよい。
- ・ コミュニケーション能力を反省させられた。
- ・ グループワークの機会はなかなかないので、とても勉強になりました。
- ・ 今回の 2 日目のセミナーでは特に 9（在宅医療について）で、医師の意識が問われ勉強になりました。
- ・ コミュニケーションスキルにおいてアイスブレイキング実践は必要と思いますが緩和ケア研修のプログラムとしてはなくてもいいかなと思いました。
- ・ このようにちゃんと緩和ケアについて勉強したことがなかったのでありがたいです。コミュニケーションの難しさを実感しました。
- ・ 薬剤師の立場として、精神科の先生から具体的にどういうときにこの薬を選択した方がいいかについて話してくれたのが良かったです。私の病院では精神科がないのでできればもっと聞きたかった。
- ・ グループワークでは Dr と Ns では患者の見る視点が異なっていることに気がつくことができた。Ns だからこそ把握できた内容を Dr に情報提供していくことも大切だと思った。

4 次回に向けて改善した方がよいと思われる点について挙げてください。

(医師)

- ・90分の講義が長すぎるので60分にすべき。
- ・講義の担当者は事前にリハーサルを行うなど、一通り内容を理解しておく必要があるのでは？と思うときも数回あった。
- ・配付資料をいただいているので講義はもう少し短時間で要点だけでもよいと思われました。ある程度がん診療を携わっていれば基本的な緩和ケアの知識や疼痛緩和等はやっていることが多いと思います。
- ・声を大きくした方がよい。

5 その他、意見、感想などございましたらご自由お書きください。

(医師)

- ・コミュニケーション能力を反省させられた。
- ・グループワークの機会はなかなかないので、とても勉強になりました。スタッフの方々本当にありがとうございました。
- ・今回の2日目のセミナーでは特に9(在宅医療について)で、医師の意識が問われ勉強になりました。
- ・コミュニケーションスキルにおいてアイスブレイキング実践は必要と思いますが緩和ケア研修のプログラムとしてはなくてもいいかなと思いました。
- ・このようにちゃんと緩和ケアについて勉強したことがなかったのでありがたいです。コミュニケーションの難しさを実感しました。

4 次回に向けて改善した方がよいと思われる点について挙げてください。

(薬剤師)

5 その他、意見、感想などございましたらご自由お書きください。

(薬剤師)

- ・薬剤師の立場として、精神科の先生から具体的にどういうときにこの薬を選択した方がいいかについて話してくれたのが良かったです。私の病院では精神科がないのでできればもっと聞きたかった。

4 次回に向けて改善した方がよいと思われる点について挙げてください。

(看護師)

5 その他、意見、感想などございましたらご自由お書きください。

(看護師)

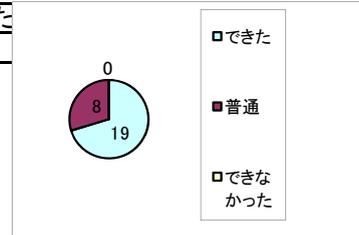
- ・あと30分早めに開始で30分早めに終わると最終便で帰れます。。次年度ぜひご考慮を！
- ・グループワークではDrとNsでは患者の見る視点が異なっていることに気がつくことができた。Nsだからこそ把握できた内容をDrに情報提供していくことも大切だと思った。

平成26年9月7日・14日「第3回沖縄県緩和ケア研修会2014」セミナー総合評価集計
 :研修会参加者 7日45人・14日41人（未記載及び未提出者有り）

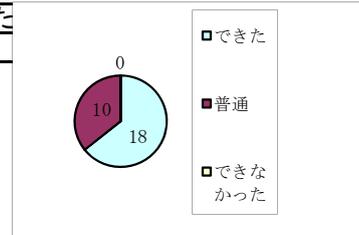
那覇市立病院

1 今回のワークショップにおける各項目についてお聞かせ下さい。
 （回答なしもあり）

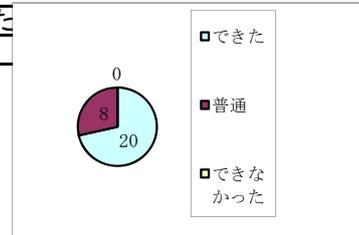
	十分理解		あまり理解
	できた	普通	できなかった
1 緩和ケア概論	19	8	0



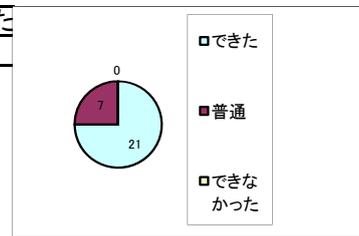
	十分理解		あまり理解
	できた	普通	できなかった
2 がん性疼痛	18	10	0



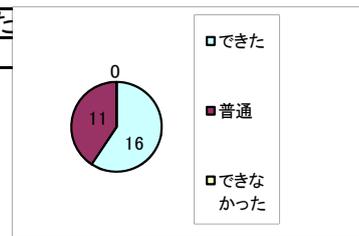
	十分理解		あまり理解
	できた	普通	できなかった
3 がん性疼痛事例検討	20	8	0



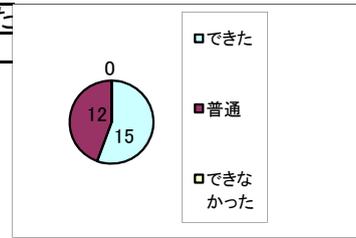
	十分理解		あまり理解
	できた	普通	できなかった
4 オピオイドを開始するとき	21	7	0



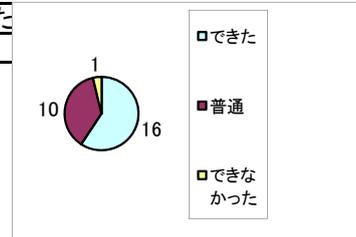
	十分理解		あまり理解
	できた	普通	できなかった
5 呼吸困難	16	11	0



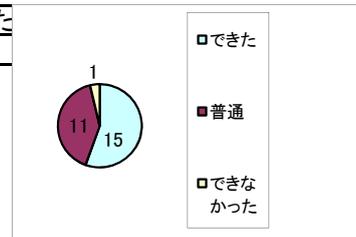
6 消化器症状	できた	普通	できなかった
	15	12	0



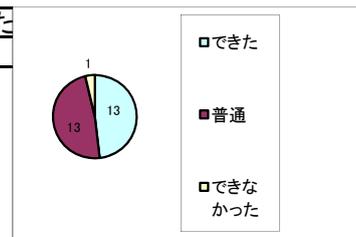
7 精神症状	できた	普通	できなかった
	16	10	1



8 コミュニケーション	できた	普通	できなかった
	15	11	1

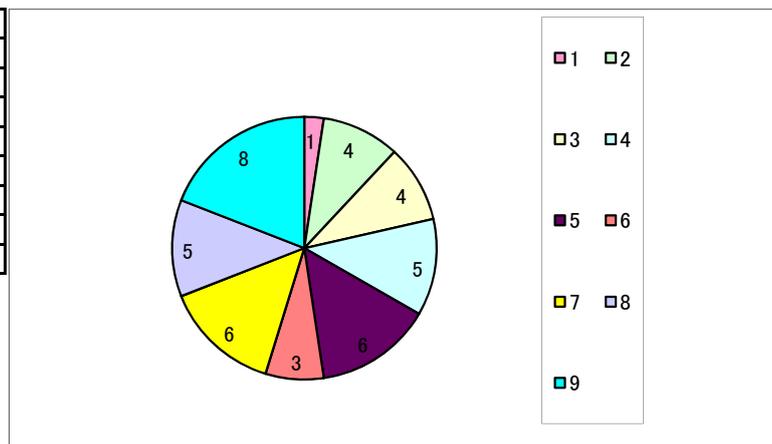


9 地域連携と治療・療養の	できた	普通	できなかった
	13	13	1



2 上記の各項目のうち、特に興味を持たれたものの番号をいくつでも下にお書き下さい。

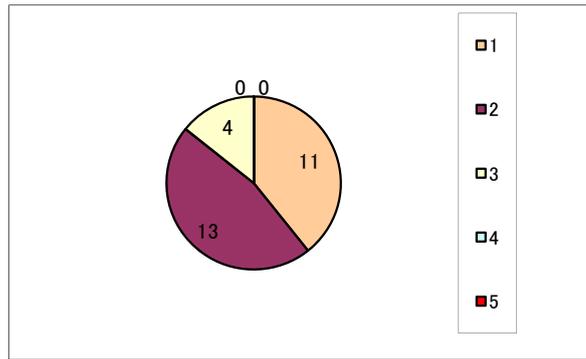
1	1
2	4
3	4
4	5
5	6
6	3
7	6
8	5
9	8



3 今回のセミナーを全般的に評価して下さい。

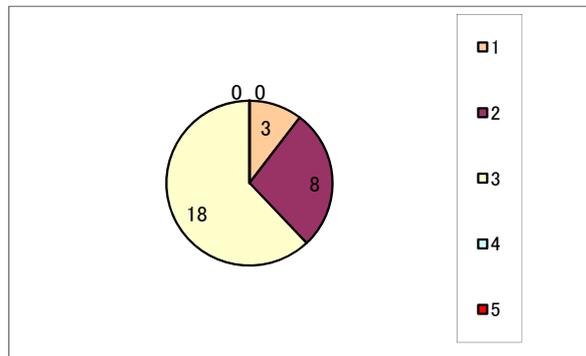
1) 自分が期待していたものと一致していましたか？ (29日+6日)

一致していた			一致していなかった	
11	13	4	0	0



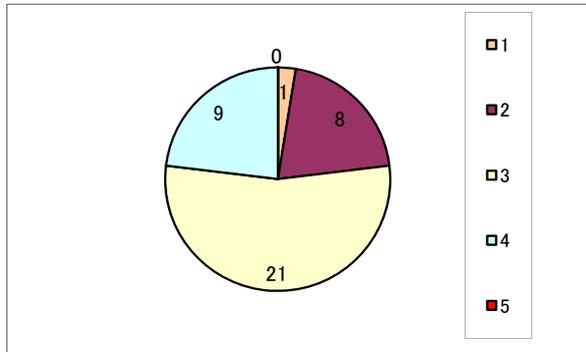
2) 作業量としてはいかがですか？

多い			少ない	
3	8	18	0	0



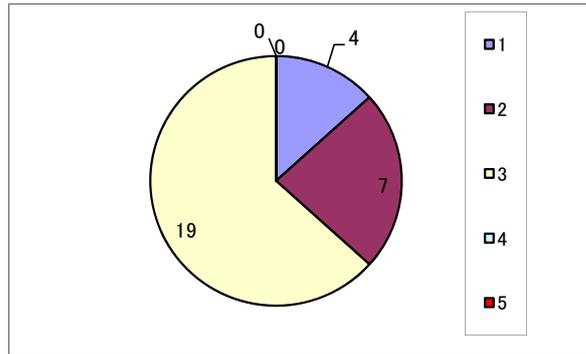
3) 作業量に比べて、時間はいかがでしたか？

多い			少ない	
1	8	21	9	0



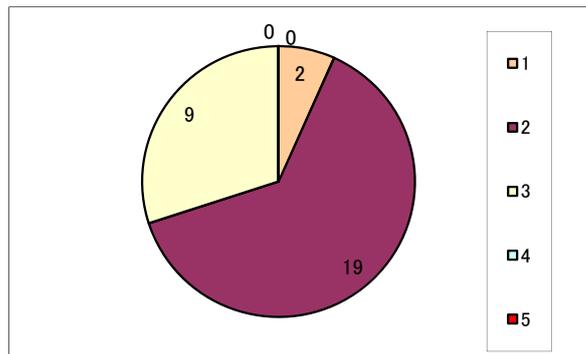
4) 難易度はいかがでしたか？

難しい					易しい
4	7	19	0	0	



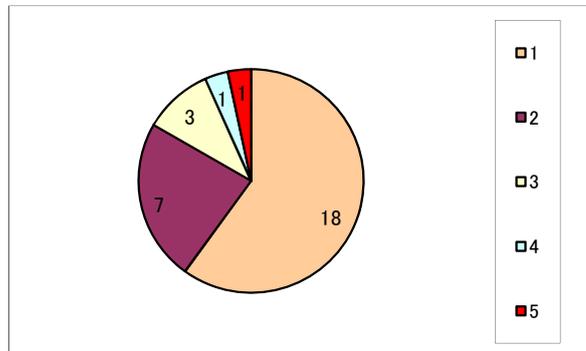
5) 積極的に参加できましたか？

できた					できなかった
2	19	9	0	0	



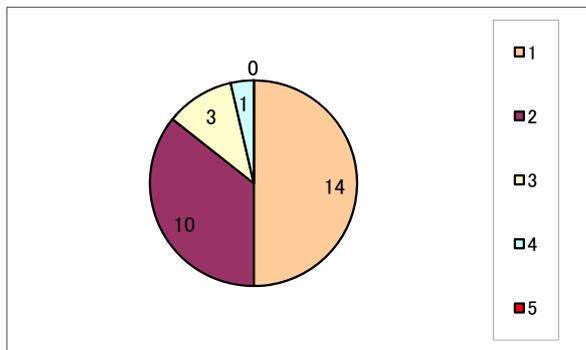
6) ファシリテーターの仕事ぶりはいかがでしたか？

よかった					悪かった
18	7	3	1	1	



7) 今後他の医師にも研修会への参加を勧めたいですか？

勧めたい					勧めたくない
14	10	3	1	0	



第4回 沖縄県緩和ケア研修会2014

日程 A日程:10月12日(日) AM9:00~17:55

B日程:10月19日(日) AM8:30~17:45

※A課程を終了後、1年以内に別の病院で行う研修会でB日程を受講することも可能です。

ただし、A日程を終了後、1年以内にB日程を受講しなければ修了証は発行されません。

場 所

浦添総合病院 アルカディア 6階
浦添市伊祖四丁目16番1号(浦添総合病院同敷地内)

対象者

がん診療に携わる医師及び研修医 30名
薬剤師・看護師も受講可能。ただし、医師からの応募が多い場合は締め切らせて頂きます。

研修内容

講義:ワークショップ、ロールプレイ等
(がん性疼痛等の新対症状及び精神症状に対する緩和ケア、コミュニケーション)

申込締切

平成26年9月26日(金) 必着

(申込み書を以下の宛先までFAXで送信してください。)

※定員に達しだい締め切ります。)

～ 申込お問合せ先 ～



社会医療法人仁愛会 浦添総合病院

臨床支援課 譜久村 (6557)

〒901-2132 沖縄県浦添市伊祖四丁目16番1号

TEL: 098-878-0231 FAX: 098-878-8434

E-mail: yfukumu2@jin-aikai.or.jp

主催: 浦添総合病院



第4回沖縄県緩和ケア研修会2014 報告書

作成：浦添総合病院、緩和ケア、新里誠一郎

開催日時：平成26年10月19日（日）B日程

10月26日（日）A日程（台風19号の沖縄本島直撃のため

10月12日（日）から延期）

主催：浦添総合病院

協力者：15人（講師9人、ファシリテーター6人）

受講予定者：27人（医師）、4人（その他）

受講修了者：第4回のAB課程修了16人（医師）

第4回のB課程修了で全課程修了5人（医師）、2人（その他）

1、プレテストの結果（回答者 A日程16人、B日程24人 【医師のみ】）

回答率ベスト1・・・(8) 麻薬使用に関する中毒、幻覚、予後等の問題(正解率94%)

2・・・(5) WHOのがん疼痛治療法について(正解率88%)

(7) オピオイドローテーションの問題(正解率88%)

(11) 呼吸困難の治療について(正解率88%)

(13) 骨転移の患者が息苦しさを訴えた場合の対処(正解率88%)

回答率ワースト1・・・(18) 悪い知らせを伝える場合のコミュニケーションの方法
(正解率18%)

2・・・(6) 各種オピオイドの特徴と選択の問題(正解率38%)

3・・・(3) 緩和ケアを専門に提供する機関について(正解率50%)

2、総合評価アンケート（回答者26人【医師以外も含む】）

① ワークショップにおける各項目についての理解度

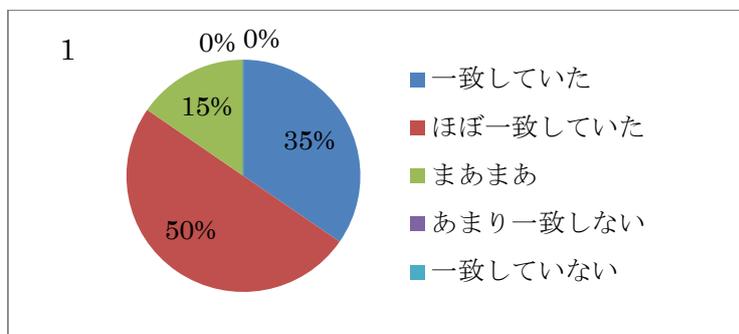
	十分理解 できた	普通	あまり理解で きなかった	無回答
1、緩和ケア概論	63%	33%	0	0
2、がん性疼痛	80%	20%	0	0
3、がん性疼痛事例検討	80%	13%	0	7%
4、オピオイドを開始する時	73%	27%	0	0
5、呼吸困難	73%	27%	0	0
6、消化器症状	65%	35%	0	0
7、精神症状	60%	40%	0	0
8、コミュニケーション	60%	40%	0	0
9、地域連携と治療・療養場 所の選択	41%	59%	0	0

② 特に興味を持ったワークショップ

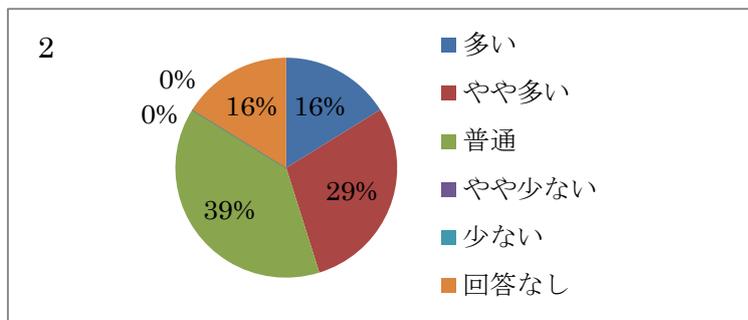
1、緩和ケア概論	1人
2、がん性疼痛	2人
3、がん性疼痛事例検討	4人
4、オピオイドを開始する時	4人
5、呼吸困難	5人
6、消化器症状	5人
7、精神症状	4人
8、コミュニケーション	7人
9、地域連携と治療・療養場所の選択	7人

③ セミナー全体評価

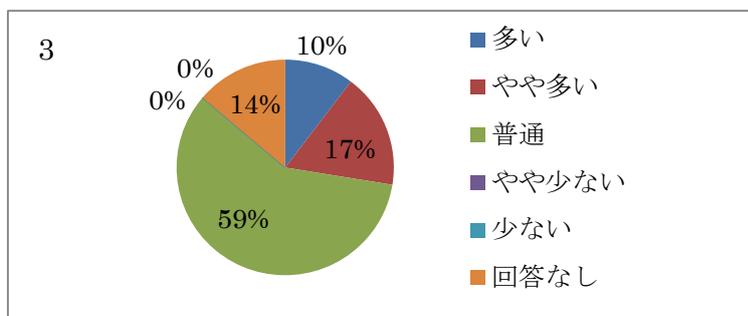
1) 自分の期待していたものと一致していましたか？



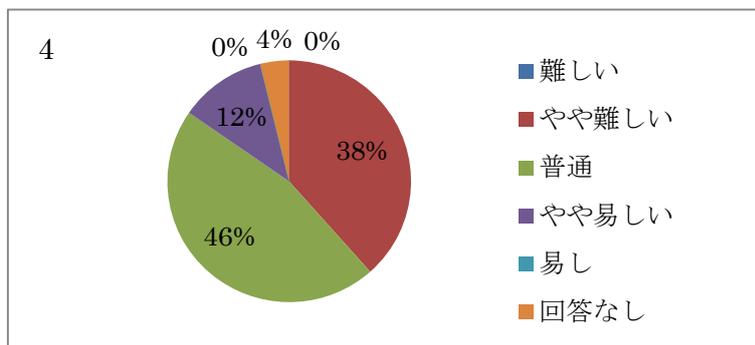
2) 作業量としてはいかがですか？



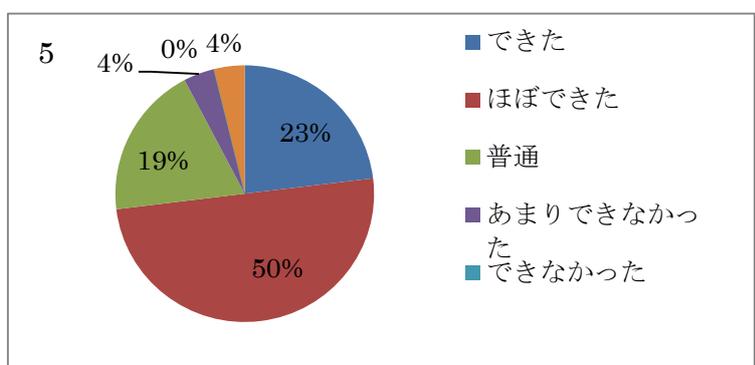
3) 作業量に比べて時間はいかがでしたが？



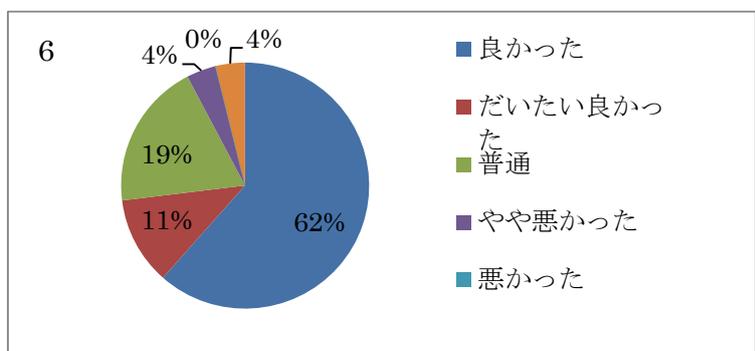
4) 難易度はいかがでしたか？



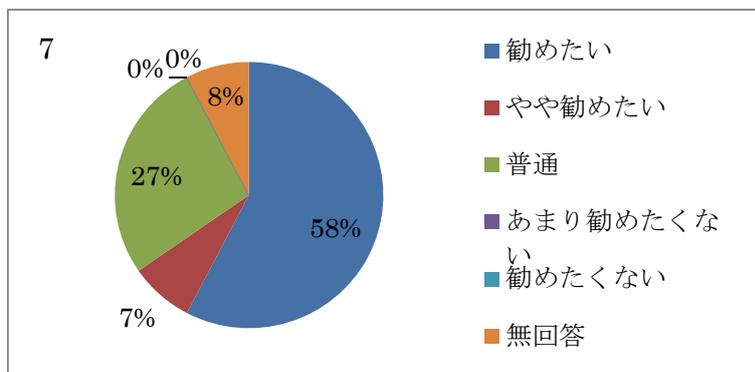
5) 積極的に参加できましたか？



6) ファシリテーターの仕事ぶりはいかがでしたか？



7) 今後、他の医師にも研修会の参加を勧めたいですか？



④ 次回に向けて改善した方が良くと思われるのも

コメディカルには少しハードルの高い部分がありました。

コミュニケーションスキルの実践的なスキルについて教えて欲しい。

沖縄県の地域医療や介護システムに関しても、もう少し立ち入った勉強がしてみたいです。

可能なら1日で終わるようにしたいのですが。

1日にできたら ありがたい。

休憩時間を減らして早く終わる方が ありがたい

ほんの少し、休憩やケース検討のグループ毎の間を少し短くしたら、もう少し早く終わると思いますが。

グループ学習でもう少し少ない人数でも良かった。

⑤ その他の意見、感想

現在の研修会の頻度を今後も維持して行って欲しい。

しっかり自分の意見をもって臨んでいきたい。

実際の臨床現場でよく遭遇する問題に対しての一つの指標となる内容でした。

とても勉強になりました。有意義でした。ありがとうございました。

スタッフの皆様お疲れ様でした。サポートありがとうございました。

2日間ありがとうございました。

平成26年度 「沖縄県緩和ケア研修会」 開催一覧(予定)

	主催者 病院名	A日程	B日程
第1回目 済	琉大病院	7月6日(日)	7月13日(日)
第2回目 済	ハートライフ病院	8月2日(土)	8月3日(日)
第3回目 済	那覇市立病院	9月7日(日)	9月14日(日)
第4回目 済	浦添総合病院	10月12日(日) 10月26日(日) に延期	10月19日(日)
第5回目	沖縄県立中部病院	11月9日(日)	11月16日(日)
第6回目	豊見城中央病院	11月22日(土)	11月23日(日)

研修会に関するお問い合わせは、各病院へお願い致します。

平成 26 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨

[日時]平成 26 年 10 月 14 日 (火) 19:15～21:10

[場所] 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

[参加者] 14 名：垣花真紀子 (沖縄県立宮古病院)、笹良剛史 (南部病院)、増田昌人 (琉大病院)、島袋恭子 (那覇市立病院)、親泊美香 (ちばなクリニック)、笠原大吾 (福寿薬局)、野村寛徳 (北部地区医師会病院)、栗山登至 (サマリヤ人病院) 福地 泉 (アドベントステイタルセンター)、崎枝久美 (アドベントステイタルセンター)、大湾勤子 (国立病院機構沖縄病院)、足立源樹 (那覇市立病院)、上田真 (沖縄県立中部病院)、喜納美津男 (きなクリニック)、

[欠席者] 4 名：棚原陽子 (琉大病院)、伊藤昌徳 (エムスリーマーケティング株式会社・ぼたん薬局)、尾崎信弘 (八重山病院)、新屋洋平 (中部病院)

[陪席者] 1 名：下地亜樹絵 (琉大病院)

< 報告事項 >**1. 商品説明会**

冒頭で、がん治療学会のランチョンセミナーで注目を集めた「GM-Clean50」の商品説明会が製薬会社より開催された。

2. 平成 26 年度第 2 回緩和ケア部会議事要旨

笹良部会長より、資料 1 に基づき、「平成 26 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会」の議事要旨が報告された。

3. 終了した緩和ケア研修会について

資料の 2 に基づき、ハートライフ病院と那覇市立病院での緩和ケア研修会が終了した事の報告が笹良部会長よりあった。

足立副部会長と栗山委員より、ハートライフ病院と那覇市立病院の両方の研修会に参加したが、医師歴が長い方にも浅い方にもそれぞれに問題があるとの報告があった。

4. その他

足立副部会長より、10月12日(日)に開催予定だった浦添総合病院の A 日程が台風の為中止になったが、10月19日(日)の B 日程を先に受け、10月26日(日)に A 日程を開催する事を特例で県が認めたとの報告があった。笹良部会長より急な開催の為、受ける事の出来ない人は11月22日(土)に開催予定

の豊見城中央病院の A 日程に空きがある為受けるようにとの指示がなされた。

<協議事項>

1. 部会委員の選考について

増田委員より、麻酔科准教授の中村清哉先生に部会委員になって欲しいとの推薦があり、委員の皆さんより承認された。

また、拠点病院の中の精神科の先生が部会に必要との意見があり、琉大精神科の外間宏人先生に入って貰うよう推薦があった。また、那覇市立病院、中部病院の精神科の先生方にも入ってもらえないかという打診があった。

2. 緩和ケア研修会修了者を、患者とその家族に対してわかりやすく情報提供することについて

資料 5-1 に基づき、琉大の緩和ケア研修会修了者一覧をポスターやチラシにし、玄関ロービー、全外来、全病棟に貼り出す予定であるとの報告があった。

足立副部長より那覇市立病院はまだ動いておらず、上田委員より中部病院は検討中との報告があった。

資料 5-2 に基づき、オレンジバルーンから研修会修了者へピンバッジを配布するという事がサイコオンコロジー学会で発表された。まだ、正式なものではないが今年度中の事業として拠点病院へ配布する予定であるという事が増田委員より報告された。しかし、医師以外のメディカルスタッフへ配布できるのかについてはまだ煮詰まっている状態であり、そこは問題点である。

県が独自にピンバッジを作る件は、委員の皆さんより国が作るのであれば無駄になるのでいいのではないかという意見があり、作らない方向で承認された。

3. 緩和ケアの普及開発についてハンドブックにオレンジバルーンのリーフレットを差し込むことについて

サイズが A4 だった為、ハンドブックに差し込む事は出来ないが、医師向けのリーフレットはぜひ医師に読んでもらいたいし、緩和ケア普及開発のリーフレットは患者に配布する計画を立てているとの報告が増田委員よりなされた。

4. 現況調査について

増田委員より琉大は緩和の部門で 7 つの出来ていない項目があったと報告された。出来ていない項目については次回の協議会で検討する事になった。

5. 今年度のフォローアップ研修会について

今年度も開催予定である。前回は追加モジュールの中から選び、緩和ケア基本研修会を修了した方へグループワークを入れたり、ボードを使ってセッションしたり、ミニロールプレイを入れてより深い内容で学んでいただくために、広報にも力を入

れ多くの参加者を集めたいとの要望が笹良会長よりあった。

6. 次回開催日程について

次回は 1月20日（火）19：00～開催予定である。

7・その他

中部病院で開催予定の緩和ケア研修会で、研修医が順調に参加しているのと、近隣の病院も合わせると参加が増える見込みである為、ファシリテータをお願いしたいという依頼が、上田委員よりあった。

また、各病院より10月6日～10月10日まで行われた緩和ケア週間の報告があった。